

「ダイワ・グローバル好配当株ファンド(毎月分配型)」 のご投資家の皆様へ

拝啓 時下ますますご清祥のことと存じ上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、現在のご投資いただいております「ダイワ・グローバル好配当株ファンド(毎月分配型)」(平成十七年十月設定)は、平成二十七年九月十五日をもって満期償還を迎えます。

当ファンドは、主として、各マザーファンドの受益証券を通じて、北米、欧州およびアジア・オセアニアの株式に投資を行ない、安定的な配当等収益の確保と値上り益の獲得による信託財産の中長期的な成長をめざすことを目的として、平成十七年十月に設定されました。

米国株式市場は、平成十九年半ば以降、サブプライムローン(信用力の低い個人向け住宅ローン)問題の深刻化の影響を受けて大きく下落しましたが、平成二十一年三月にはFRB(米国連邦準備制度理事会)による量的金融緩和策などを好感して反発に転じました。その後、欧州債務問題や米国の債務上限問題を受けて調整する場面もありましたが、経済指標の改善や堅調な企業業績などを支援材料に上昇し、史上最高値の更新が続きました。

欧州株式市場は、堅調な企業業績などを受けて上昇して始まりましたが、平成十九年半ばから平成二十一年三月にかけて米国のサブプライムローン問題の影響を受けて大きく下落しました。その後は、ギリシャに端を発した欧州債務問題により下落する局面もありましたが、ECB(欧州中央銀行)の金融緩和策や各国の政策対応を好感して上昇し、設定来でプラス圏となりました。

アジア・オセアニア株式市場は、世界的な好景気を背景に、平成十九年半ばにかけて好調な推移となりましたが、その後、米国でのサブプライムローン問題の深刻化とリーマンショックを受け、調整しました。平成二十一年三月以降は各国中央銀行の金融緩和策や、各国の政策対応を背景に回復し、上昇しました。為替相場について、米ドルやユーロ、台湾ドルなどは、サブプライムローン問題や欧州債務危機、各国の金融緩和姿勢などを背景に、平成二十四年末にかけて下落しましたが、その後、政権交代期待や日銀の追加緩和、FRBの量的金融緩和策の縮小などから上昇しました。豪ドルは、リーマンショックを受け大幅に下落しましたが、中国の大規模な公共投資や、財政の健全性が評価されて、平成二十一年に入ると他の通貨に先駆けて反発しました。

この結果、平成二十七年三月九日現在の基準価額は八、五五九円、設定当初からの分配金の合計額は五、六七〇円となっております。

基準価額は、市場動向などにより償還日までの間変動いたしますが、償還一カ月程度前を目処に、わが国の短期金融資産を中心とした安定運用に切り替えていくことを予定しており、その場合は株式等の値動きによる基準価額の変動はほとんど無くなりますので、お含みおきくださいますようお願い申し上げます。

別添の「運用経過について」におきまして、簡単ではありますが、設定来の運用状況を取りまとめさせていただきますので、ご一読賜りますようお願い申し上げます。詳しい運用の内容につきましては、償還日以降運用報告書をご高覧賜る予定でございますが、以上取り急ぎご案内申し上げます。

当ファンドの償還金で他のファンドを購入される際に、募集・販売手数料が無料または割引きとなる場合がございます。詳しくはお取引きいただいております取扱い証券会社の本・支店、営業所の窓口でお尋ねくださいますようお願い申し上げます。

今後の証券投資信託の運用につきましては、ご投資家の皆様のご期待に添えますよう万全を期して努力する所存でございますので、より一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

平成二十七年三月

大和証券投資信託委託株式会社

代表取締役社長 白川 真